

**綱 領**

- 吾々は、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
- 吾々は、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
- 吾々は、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

# 日 赤 新 労

平成13年  
3月15日  
発 行  
第172号

**発行所**  
日本赤十字新労働組合連合会  
(日赤新労)  
東京都港区浜松町2-6-8伸和ビル1F  
TEL (03)3433-3028  
FAX (03)3432-4560  
Eメール sinrou@nyc.odn.ne.jp  
発行責任者 坂本樹由

## 第四〇回定期全国大会開催

### 二〇〇一年賃上げ二・五％に！

二月二十五日から二十七日の三日間、愛知県豊橋市の「ホテル日航豊橋」において、全国より代議員及びオブザーバー等約二二〇名の参加を得て、第四〇回定期全国大会が開催された。平成十三年度運動方針や要求書等について慎重な審議が行われ、盛会の中に無事終了した。

また、二十六日午後からは日赤新労結成四〇周年を記念して、式典及び祝賀会が盛大に開催され、本社の佐々木人事部長をはじめ地元施設からも多くの来賓の方々にご来臨いただいた。

大会初日は、まず開会の唱えられ、資格審査・成立確



ことばの後、参加者全員で、認を経て、大会役員及び議

日赤新労労働歌が力強く合 長団の選出が行われた。

議長には西村和典氏(大津日赤)、副議長に佐賀克己氏(徳島血セ)、書記に寺西重徳氏(名古屋赤)がそれぞれ選出された。

大会開催にあたり、浜崎中央執行委員長が挨拶に立ち、今大会での慎重かつ活発な審議を要請した。

次いで祝辞・祝電が披露され、報告・審議事項へと議事は進行された。



### 大会開催にあたって

中央執行委員長 濱崎健藏

二二世紀の幕開けとなる二〇〇一年を迎え、日赤新労は豊橋市にて記念すべき第四〇回定期全国大会を開催いたしました。

昭和三十六年に産声をあげて以来、様々な困難を乗り越え、数多くの成果を勝ち取ってまいりました。

働く者の視点で見ると、アウトソーシング、賃金制

度要求書の回答結果を含め、た一般経過報告がなされ、質疑応答の後承認された。

三、会計収支決算報告  
後藤中央会計より資料に基づいて説明があり、報告書通り承認された。

四、会計監査報告  
小柳会計監査委員より、適正且つ正確に処理されている旨報告があり、承認された。

五、単組活動報告  
各単組の交渉事項や諸活動について、資料による報告が行われ、承認された。

(以上、詳細は大会資料を参照のこと)

**審議事項**

一、平成十三年度運動方針案について  
第三回中央委員会で審議承認された同案について、質疑なく承認決定された。

二、予算案について  
第三回中央委員会において決算見込みで提示された予算案を、一月決算で確定した繰越金から一部修正して提案され、賛成多数で承認決定された。

三、要求書案について  
代議員より特別会計報告に対する要望があった。

四、賃上げ案について  
基本賃金の引上げは定昇込み三・五％、一万二千五百円と決定された。

他、昇格基準表の三要件「ユニカリ」



### 豊橋大会宣言

日本赤十字新労働組合連合会は、記念すべき第四〇回定期全国大会を早くもこの「ホテル日航豊橋」において盛大に開催した。

二二世紀にはばたく我々は、平成十三年度運動方針案として、  
○実質賃金を獲得し、豊かでゆとりある生活

○労働時間短縮と、完全週休二日制の実施  
○教宣活動を強化し、組織の団結と活性化  
○福利厚生充実と、新労の理念を基調とし、全組合員の協力のもと、ゆるぎない意志と団結に努め、要求貫徹に向かって力強く前進することを誓います。

平成十三年二月二十七日  
愛知県赤十字血液センター  
職員組合 石田 昌子

掲げ、今後ますます厳しくなると思われる医療環境と労働条件の中、日赤新労の理念を基調とし、全組合員の協力のもと、ゆるぎない意志と団結に努め、要求貫徹に向かって力強く前進することを誓います。

〇天下一人事を排斥し、適正な人事管理と内部登用

〇定年制の早期実現と、老後保障の充実

〇福利厚生充実と、新労の理念を基調とし、全組合員の協力のもと、ゆるぎない意志と団結に努め、要求貫徹に向かって力強く前進することを誓います。

平成十三年二月二十七日  
愛知県赤十字血液センター  
職員組合 石田 昌子

# 祝 日本赤十字新労働組合連合会 結成40周年記念式典を挙



多くのご来賓、ご招待者等をお迎えし、盛大に挙行された記念式典

この四〇年間、私たちの活動は広く日本赤十字社職員の間で、確実な発展を遂げてまいりました。しかし、バブル崩壊後の労働者を取り巻く環境は非常に厳しくなってきました。組合員数の減少という、まさに労働組合の存在が問われる時代となっています。幸い日赤新労は年々組合員数も増加して

びであり光栄に思う次第です。昭和三十年代、『職場は労働組合』として組合運動の発展に全力を尽くし、赤十字の理念を實踐することと考えます。日本赤十字社を機に心を新たに、綱領である『赤十字の民主化と近代化、そして人道的任務の達成に寄与すること』を増して厳しい事業運営が求められていますが、日赤新労は良識ある組合として、今後要求実現のため組合の結成時の熱き想いを今一



役割は大きくなっていると感じています。私たちの運動の原点は、日赤新労は、組合員一人一人のものであるとともに日本赤十字社職員全員のものであります。四〇周年を機に心を新たに、綱領である『赤十字の民主化と近代化、そして人道的任務の達成に寄与すること』を増して厳しい事業運営が求められていますが、日赤新労は良識ある組合として、今後要求実現のため組合の結成時の熱き想いを今一



各単組から持ち込まれた組合旗が会場の雰囲気を盛り上げた

度思い出し、新たな出発としたいと思っております。皆様方には、今後ともなげます。」



最後に、組合員全員の起立のもと、ステーションには盛岡日赤の中村友子さんの歌声も高らかに労働歌が斉唱され、盛会の中にプログラ

## 「21世紀にはばたく 日赤新労」を掲げて

去る二月二十六日(月)、愛知県豊橋市の「ホテル日航豊橋」において、日本赤十字新労働組合連合会結成四〇周年記念式典並びに記念祝賀会が盛大に挙行された。式典は、ホリデイ・シアターAを会場に多くの来賓、招待者の方々にご臨席いただき、厳粛な中にも滞りなく、無事終了した。祝賀会も、加盟単組の協力もあって華やかな盛り上がりを見せ、参加者等は一時の祝いの美酒に酔いしれた。また、参加者等には、四〇周年を記念して作成された記念誌「四〇年のあゆみ」が配布された。

記念式典は、まず、これ子をはじめ、歴代本部役員までの日赤新労の歩んできた道のりの映像が映し出された。二〇枚のスライドを、そして地元名古屋第一日赤の森中央執行委員の司会進行により開式の辞が告げられ、坂本中央書記長が厳粛と開式の言葉を述べた。

静まりかえった緊張感の中、浜崎中央執行委員長が演壇に立ち、次のように挨拶の言葉を述べた。「新世紀の幕開けとなる記念すべき年に、日赤新労結成四〇周年記念式典を挙行できることは、無上の喜びであり光栄に思う次第です。昭和三十年代、『職場は労働組合』として組合運動の発展に全力を尽くし、赤十字の理念を實踐することと考えます。日本赤十字社を機に心を新たに、綱領である『赤十字の民主化と近代化、そして人道的任務の達成に寄与すること』を増して厳しい事業運営が求められていますが、日赤新労は良識ある組合として、今後要求実現のため組合の結成時の熱き想いを今一



記念式典は厳粛な中に進行された

続いて、ご来臨いただいた日本赤十字社総務局人事部長の佐々木典夫氏、日赤新労前中央執行委員長の梅村正一氏、愛知県支部長代理の橋本元成事務局長の三氏からご祝辞を頂戴した。ご来賓、ご招待者一四名の紹介の後、全国各地から寄せられた祝電の披露がなされ、さらに長年にわたり日赤新労の中央執行役員を務めていただいた三名と中央委員を務めていただいた七名に、感謝状と記念品が贈呈された。



## 祝賀会も盛大に開催

記念式典に引き続き、五時三〇分からはホリデイ・ホールCにて記念祝賀会が開催された。

川島中央執行委員長の軽快な司会進行のもと、渡辺中央執行委員長の開会の言葉、浜崎中央執行委員長の挨拶と続き、式次第に従って鏡割りの準備がなされた。

舞台上には、名古屋第一日赤の渡邊院長、名古屋第二日赤の栗山院長、愛知県血液センターの小澤所長、豊橋血液センターの富田所長の四氏にご登壇いただき、ありがたいご祝辞を頂戴した後、浜崎中央執行委員長を中央に据え、掛け声とともに祝いの樽に木槌が振り下ろされた。

シャッターチャンスとばかり、カメラマン役をお引き受けただいた芳賀日赤の山田隆幸氏と鳥取日赤の



山下純一氏のカメラからはフラッシュが飛び交い、結婚式の祝宴でのケーキカットを思わせる場面でもあった。

乾杯の音頭は、二十七年間の長きにわたる第四代中央執行委員長として活躍された川出富治氏よりご発声いただき、祝宴に入った。

一〇名で取り囲む各円卓には、次々と手際よく料理が運ばれ、ふんだんに用意されたビール片手にテーブル巡りをして懇親を深める組合員等の姿が見られた。また、招待者の方々からも心に残るテーブルスピーチをいただき、懐かしい時代を振り返り、暫し思い出にふける出席者も見られた。

今回の式典・祝賀会には本部たつてのお願いで、盛岡日赤より「みちのくの歌姫」中村友子さんにご協力いただき、式典の労働歌斉唱に引き続き、祝賀会でもまた素晴らしいノドをご披露いただいた。プロ顔負けの歌声に、会場の全員が魅

了されたのは言うまでもない。さらに盛り上がる舞台上に登場したのは、今大会の副議長を務めた徳島県血液センターの佐賀克己氏。後に組合員有志を引き連れての「阿波踊り」もまた絵になり、会場からはやんやの喝采があがっていた。

\*

最後に、初代執行委員長である小崎寿美男氏（元山田日赤）から寄せられたお祝いのご言葉をここに披露したい。

《お祝いのご言葉》

もう、四〇年も経ったのですか、まったく感無量です。ここ伊勢の地で、「親方

日の丸」の考え方に断固反対して旗揚げしたのが「日赤新労」です。その席上、ちよっとモノを云ったばかりに初代執行委員長に祭り上げられ、やがてドップリ足をつかって専従役員として東京に移住。

全国組織の強化を図るため、北は盛岡日赤に始まって単新オルグの旅に出、山陰は鳥取、益田、九州に渡って福岡、筑前山田、原爆長崎病院。反転して岡山日赤に立寄り、長期オルグを果たしましたのも生涯の想い出です。

その後、日赤新労の土台が固まったのを見届けて、老骨に鞭打って働いていただきます。優秀な役員にすべ



祝杯のグラスを掲げる川出富治氏

少子高齢化の中で医療費の抑制は酷しく、病院も診療所も他の企業と同様に、生、いろいろありましようが、努力を重ねて行っていく。リストラ、倒産の波ださいます。そして、日赤新労は医療界にも及んでいる。四〇年の歴史にさらに花をの頃は。この様なご底添えてくださるものと確信景気の中にあつて、組合連合してきます。動を進める諸兄、諸姉の御皆さま、ご健康であらん苦労は並大抵でないと思像ことを！



男性は全員スーツ姿のあらたまった姿でも、雰囲気は和やかムードの祝賀会



「お祝いのご言葉」

男性は全員スーツ姿のあらたまった姿でも、雰囲気は和やかムードの祝賀会



- 〔ご来賓者〕
- 日本赤十字社総務局 第七代中央執行委員長 青山 圭 一 様
  - 人事部長 佐々木典夫様
  - 日本赤十字社愛知県支部 事務局長 橋本 元成様
  - 名古屋第一赤十字病院 院長 渡邊 英夫様
  - 名古屋第二赤十字病院 院長 栗山 康介様
  - 愛知県赤十字血液センター 所長 小澤 和郎様
  - 愛知県豊橋赤十字血液センター 所長 富田 忠雄様
  - 日本赤十字社総務局人事部 職員課長 山口 繁様
  - 日本赤十字社総務局人事部 職員課長 福永 直樹様
  - 〔ご招待者〕
  - 第三代中央執行委員長 川島 亮介様
  - 第四代中央執行委員長 川出 富治様
  - 第六代中央執行委員長 青山 圭 一 様
  - 第七代中央執行委員長 梅村 正 一 様
  - 元中央執行委員長 松本 晃 様
  - 明治大学法学部講師 松岡 二郎 様
  - 〔感謝状贈呈者〕
  - 本部役員として
  - 梅村 正 一 様
  - 樹下 成徳様（大津日赤）
  - 柏谷 幸司様（愛知血セ）
  - 中央委員として
  - 佐賀 克己様（徳島血セ）
  - 西村 和典様（大津日赤）
  - 武郷 徹様（三原日赤）
  - 飯田 幹雄様（元岡山日赤）
  - 服部 育男様（名二日赤）
  - 小寺 悟様（鳥取日赤）
  - 徹次様（福島日赤）

# 新本部役員紹介

中央執行委員長

濱崎 健藏

(岡山日赤)

中央執行委員

鈴木 典浩

(前橋日赤)

中央副執行委員長

川島 環

(鳥取日赤)

中央執行委員

石川佳世子

(名二日赤)

中央副執行委員長

渡辺 渡

(青森日赤)

中央執行委員

高橋美智子

(飯山日赤)

中央書記長

坂本 樹由

(足利日赤)

会計監査委員

西島 靖人

(大津日赤)

中央会計

後藤 孝浩

(石巻日赤)

会計監査委員

小柳 敏夫

(唐津日赤)



## 退任の挨拶

名古屋第一赤十字病院

森 一博

このたび、四〇周年記念大会をもって退任することとなりました。二年間という短い期間ではありましたが、新労の本部役員を務めさせて頂き、たくさんのご意見を伺うことが出来たことが大変うれしかったです。今後、ご活躍される方々から選ばれる医療機関になるよう努力させていただきます。ご挨拶申し上げます。

## 長根 潤一

日本赤十字新労働組合連合会

長根 潤一

このたび、四〇周年記念大会をもって退任することとなりました。二年間という短い期間ではありましたが、新労の本部役員を務めさせて頂き、たくさんのご意見を伺うことが出来たことが大変うれしかったです。今後、ご活躍される方々から選ばれる医療機関になるよう努力させていただきます。ご挨拶申し上げます。

## 小林 智

日赤新労

小林 智

このたび、四〇周年記念大会をもって退任することとなりました。二年間という短い期間ではありましたが、新労の本部役員を務めさせて頂き、たくさんのご意見を伺うことが出来たことが大変うれしかったです。今後、ご活躍される方々から選ばれる医療機関になるよう努力させていただきます。ご挨拶申し上げます。

## 西村 和典

大津赤十字病院新労働組合

西村 和典

このたび、四〇周年記念大会をもって退任することとなりました。二年間という短い期間ではありましたが、新労の本部役員を務めさせて頂き、たくさんのご意見を伺うことが出来たことが大変うれしかったです。今後、ご活躍される方々から選ばれる医療機関になるよう努力させていただきます。ご挨拶申し上げます。

## 小寺 悟

日赤新労

小寺 悟

このたび、四〇周年記念大会をもって退任することとなりました。二年間という短い期間ではありましたが、新労の本部役員を務めさせて頂き、たくさんのご意見を伺うことが出来たことが大変うれしかったです。今後、ご活躍される方々から選ばれる医療機関になるよう努力させていただきます。ご挨拶申し上げます。

## 上城 憲司

日赤新労

上城 憲司

このたび、四〇周年記念大会をもって退任することとなりました。二年間という短い期間ではありましたが、新労の本部役員を務めさせて頂き、たくさんのご意見を伺うことが出来たことが大変うれしかったです。今後、ご活躍される方々から選ばれる医療機関になるよう努力させていただきます。ご挨拶申し上げます。

八戸赤十字病院職員組合  
に業務を少しでも効率化しようという取り組み姿勢等、長年本部役員を務められる方々には、心から敬意を表します。

今日、医療を取り巻く環境は益々厳しさを増してきており、労働組合活動も大変になっていくと思いが、日赤新労四〇年の歴史に恥じぬよう、基本理念である『労使協調』のもと、現本部役員とともに一丸となって、今後もより一層の組織の活性化を図り、諸要求の獲得に向けて努力していきたいと思っております。

最後に、日赤新労のさらなる発展と組合員の皆様のご健康を祈念しお祝いの言葉とさせていただきます。

前橋赤十字病院職員組合  
小林 智

日赤新労が結成され四〇周年を迎えたことを、心よりお慶び申し上げます。

日本経済の長引く不況から会社自体の存続が危ぶまれ、解雇される人も大勢いる中、組合が組合員を守れなくなってきたこと、その存在意義が失われつつあります。しかし、このような時代だからこそ組合の存在意義や重要性を再認識して、一人一人の英知を集結



代表中央委員の皆さんにご寄稿いただきました

産階級の所有物ではなく、職場も使用者・雇用者を含めたすべての働く人々のものであり、日本赤十字社はその団体の成り立ちからして公共性を強く求められていいます。このことから、我々の職場は地域住民の人々のものであるとも言えます。

そのために、我々の労働組合活動はただ単に使用者に対する闘争活動であるだけでは難しく、職場の発展を念頭にいたしたものでなければなりません。

前日の日曜日、私は滋賀県病院大会の参加を余儀なくされ、終了後、すぐさま豊橋に馳せ参じた。四〇周年、節目の大会議長という大役があったので、今回は遅れてはならぬと、あらかじめ交通手段を駆使しての参加であった。会場に着くや否や、執行部から「明日は記念式典云々」との話。それならと今回はネジを巻いての議長役、皆さんの協力を得ての大会となった。

はなりのません。日赤新労の労働協約を基本路線とする運動は、職場や時代の要請にあつたものと感じます。しかしながら、使用者と雇用人者という立場は歴然と存在しており、我々は働きやすい職場環境、適切な労働対価を確保していかなければなりません。

日赤新労の良識ある活動により、我々労働者の職場環境をより良いものとし、益々日赤新労が発展することを祈ります。

二月二十六日大安吉日、まさしく四〇周年にふさわしく豊橋の天気は快晴で、澄みわたる青空であった。執行部の意気込みや如何に、「組合員の皆さんはスツツ姿で」式典の一〇分前に集合！そして「感謝状受取者は前列右側に！」

私とき若輩者を表彰していただき、大変光栄に感じています。七年間にわたり五ブロックの中央委員を務めさせていただきましたが、今振り返ればあつという間の七年でした。

組合役員も長くなると問題があるなど単組においていろいろ考える今日この頃ですが、中央に出ますと新鮮さを感じると同時に、何か発言して帰らねばという意識は強く持っています。